## 令和５年度復職支援研修

# 都城地区復職支援研修実施報告

研修　令和５年10月３日（火）～10月５日（木）

# 令和５年度復職支援研修　都城地区別復職支援研修実施報告

1. 目　　的　　未就業看護職に対し、最近における看護知識・技術を修得させ再就職を促すとともに就業の継続支援を目的とする

2. 開催期間　　都城地区　令和５年10月３日（火）～10月５日（木）10：00～15：00

3. 開催場所　　都城地区　都城市郡医師会病院
（〒885-0002　宮崎県都城市太郎坊町1364-1）

4. 受講資格　　未就業の保健師・助産師・看護師・准看護師で、再就業に意欲的な方

5. 主　　催　　宮崎県、公益社団法人宮崎県看護協会

6. 協　　力　　都城市　公共職業安定所　都城市北諸県郡医師会

7. プログラム

| 集合研修 | 午前 | 午後 |
|---|---|---|
| 10/~~3~~<br>１日目 | ９：30～９：45　受付<br>**開講挨拶**<br>**オリエンテーション**<br>**感染管理（10：00～12：00）**<br>感染の知識を深め、正しい感染予防の実際を学ぶ。感染予防の基本的技術を習得する。<br>講師　都城市郡医師会病院<br>感染管理認定看護師　横川三月氏 | **復職支援講座・交流会**<br>（13：00～15：00）<br>受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める。<br>講師　宮崎県ナースセンター<br>キャリアコンサルタント　荒川貴代美<br>就業相談実施（希望者のみ）<br>ナースセンター職員 |
| 10/4<br>２日目 | **訪問看護ステーションの概要**<br>**（10：00～11：00）**<br>訪問看護の役割ややりがいを知る。<br>講師　訪問看護ステーション優癒<br>大道事業所統括所長　谷口世志美氏<br>**実習についてのオリエンテーション**<br>**（11：10～12：00）**<br>都城市郡医師会病院<br>総看護師長　上森妃美氏 | **フィジカルアセスメント**<br>**（13：00～15：00）**<br>患者の状態から緊急性の有無を明確に判断・把握する。<br>講師　都城市郡医師会病院<br>救急看護認定看護師　竹下由美氏<br>就業相談実施（希望者のみ）<br>ナースセンター職員 |
| 10/5<br>３日目 | **病院実習（9：00～12：30）**<br>都城市郡医師会病院にて<br>実習支援看護師とともに病院での看護ケアを体験する。感染管理対策、医療安全管理を学ぶ。<br>実習支援担当：門分未来氏　財部正恵氏<br>(実習内容)<br>病棟環境整備<br>看護ケア<br>電子カルテ説明・吸引見学<br>血糖測定見学<br>体位変換・おむつ交換<br>食事準備<br>食事介助見学 | **研修の振り返り（12：30～13：00）**<br>**記録時間（13：00～13：30）** |

8. 結　　果

1）参加者数　5 名

【受講者の状況】

資格：看護師 5 名

就業状況：就業中　1 名、未就業 4 名

年齢分布（単位：人）n=5

| | |
|---|---|
| 20 歳代 | 0 |
| 30 歳代 | 0 |
| 40 歳代 | 0 |
| 50 歳代 | 4 |
| 60 歳以上 | 1 |
| 平均年齢 | 54.8 歳 |

経験年数（単位：人）n=5

| | |
|---|---|
| 1 年未満 | 0 |
| 1 年～4 年 | 1 |
| 5 年～9 年 | 2 |
| 10 年～19 年 | 2 |
| 20 年以上 | 0 |
| 平均経験年数 | 8.6 年 |
| 最大値 | 15 年 |
| 最小値 | 3 年 |

ブランク年数（単位：人）n=5

| | |
|---|---|
| 1 年未満 | 0 |
| 1 年～4 年 | 1 |
| 5 年～9 年 | 0 |
| 10 年～19 年 | 1 |
| 20 年以上 | 3 |
| 平均ブランク年数 | 17.2 年 |
| 最大値 | 27 年 |
| 最小値 | 1 年 |

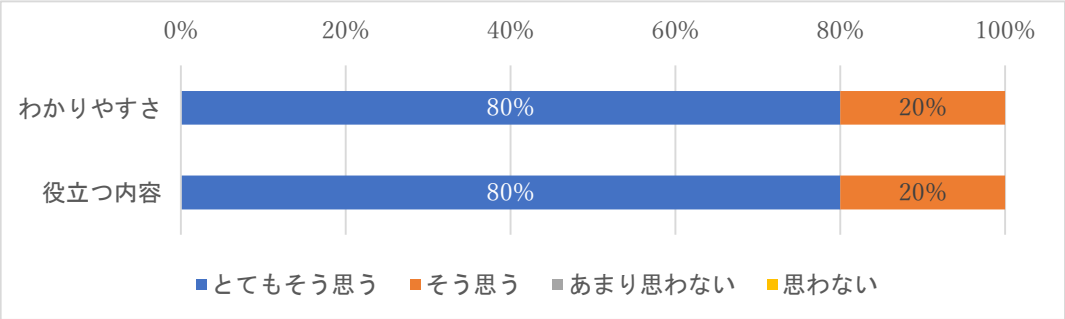
2）研修アンケート結果

（1）回収数 5（回収率 100%）

（2）講義について

各講義について「わかりやすさ」と「役立つ内容であったか」について 4 段階評価を行った。

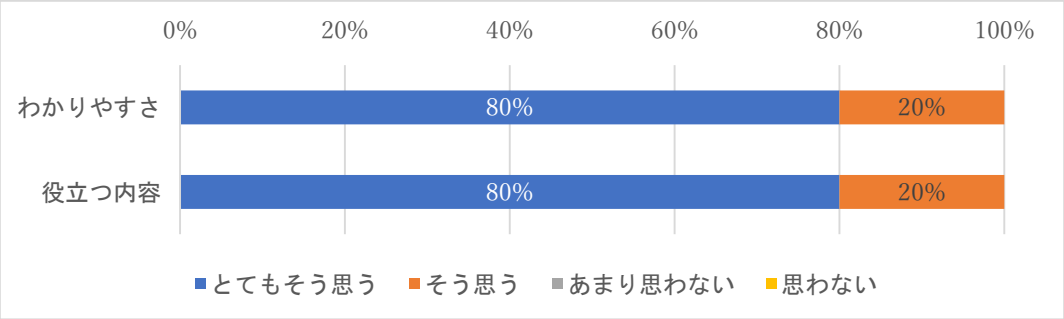
**講義 1　復職支援講座**




（わかったこと自由記載）

- 就職にあたり、看護の動向がわかった。先を考え、心構えをすべきだと思った。
- 今後の復職に役に立つことばかりで、頑張って働いていこうと思った。
- 講義の内容もわかりやすくてよかった。
- 今後の仕事探しの参考になった。
- ナースセンターの役割や利用方法が理解できた。また研修参加者の様々な思いを知り、自身の今後の進路の参考になった。有意義な時間を過ごせた。

**講義 2　感染管理**



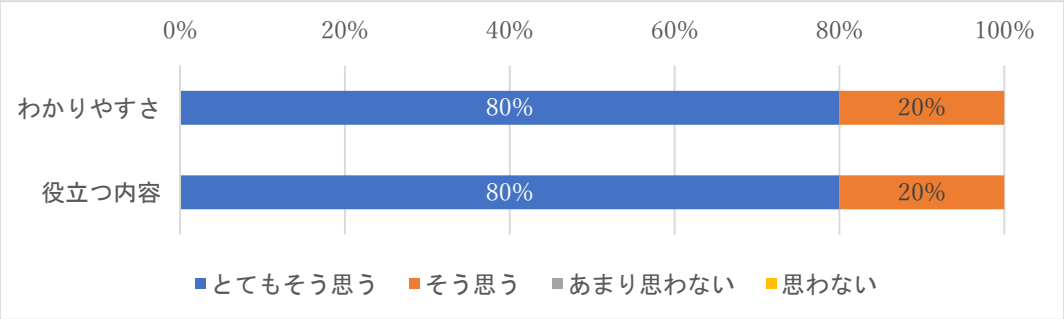
（わかったこと自由記載）

- 全世界死亡者数の 4 分の 1 が感染症を占めることを知った。そして感染防止対策のルール作りと個人実践の徹底が基本になると実感した。
- わかりやすく説明していただき、感染について再認識することができた。
- 実際に手洗いや消毒、ガウン着脱をしたことで、感染防止の方法を覚えることができた。
- 感染の仕組みを再認識する機会になった。手洗いの方法や防護具の着脱方法はどこが清潔でどこが汚染されているかを考えながら実施することを再確認できた。
- 麻疹患者は 1 人につき 12 人か 13 人を感染させ、インフルエンザやコロナは 1 人につき 1 人に感染させることがわかった。

**１日目の感想**

- ユーモアを交えた講義でとても有意義でした。実践に役立てたいです。
- 病院での実習講義で復職に意欲が出た。今日の講義で学ぶ楽しさや忘れていたことを知り、いい機会で参加してよかったと思う。
- 大変ためになった。講義の内容、演習もさせていただき、初めて防護服も着用した。仕事も方向性に困っている方が多くて、同じような悩みでびっくりした。
- 現状について理解することができた。また学習することができて良かったと思った。
- 感染管理については、実体験に基づいた説得力のあるそしてユーモアにあふれる教育だった。素晴らしい教育ありがとうございました。

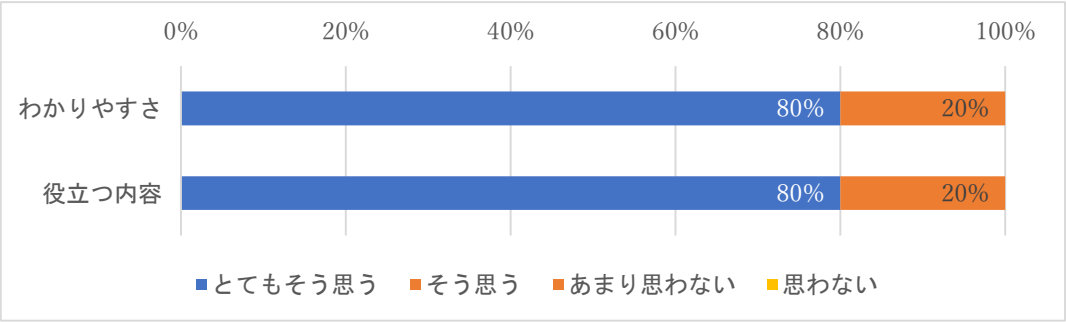
**講義３　訪問看護ステーションの概要**




（わかったこと自由記載）

- 超高齢化社会を迎えた日本において、訪問看護利用者、ステーションの数は増加し、時代は訪問看護を必要としていることを理解できた。
- 高齢社会の現在の日本において、訪問看護の人員増の必要性がわかった。また、訪問看護の魅力、やりがいを理解すると共に、基本 1 人で訪問し、ケアし、緊急性を判断する難しさも痛感した。
- 訪問看護の現状を知ることができた。ステーションの数も増えているが、利用に追いつかないことがわかった。
- 訪問看護について詳しく聞くことができてよかった。思っていたより一緒に訪問して指導してもらえるという事で、悩みが少し取れた感じです。
- 看護技術も必要だと思った。1 人の方と大変密に関わることもよくわかった。

講義４「フィジカルアセスメント」



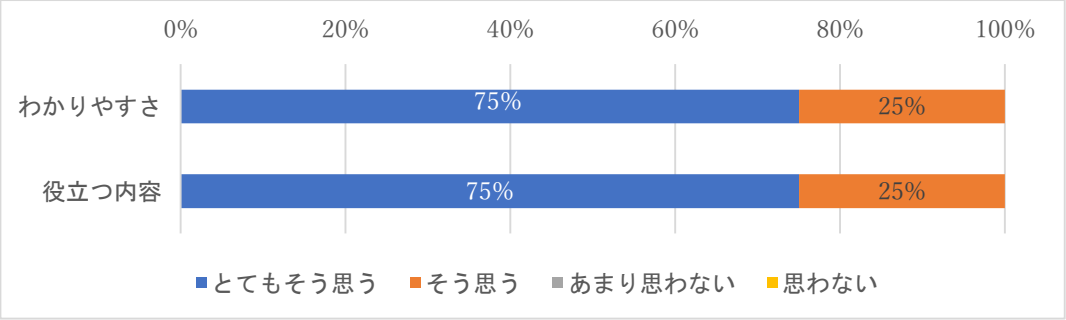

（わかったこと自由記載）

- 実際の DVD 映像での教育で問診、視診、触診、聴診の要領が学べた。
- まず視診で、酸素の流れる A→B→C→D の順でアセスメントする。次に呼吸循環のアセスメントによる障害の予想をし、必要な処置につながるように活用したい。
- 呼吸・循環の基礎的なことや話を聴く事が出来て、再度学習をする必要があると思った。
- 呼吸器疾患や循環器系について詳しく学べて良かった。
- 異常な呼吸音を聴けて勉強になった。

２日目の感想

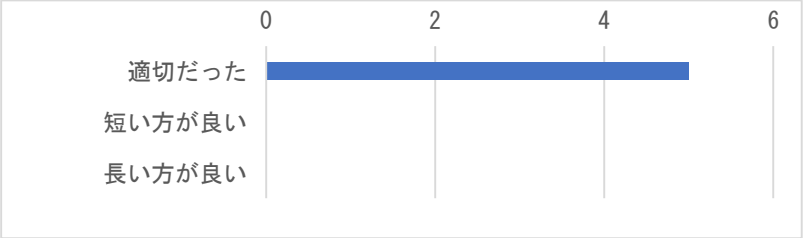
- 自分の能力を理解し、今後の就職、職種の方向性を考える視点を得ることができた。訪問看護の良いところも再認識できてよかった。今後も機会があれば訪問看護について学んでいきたいと思う。
- 訪問看護についてどんな感じなのかわからなかったが、実際に働いている人から話を聞けてよかった。今回は良い学びの機会になった。
- 訪問看護ステーションも、フィジカルアセスメントも大変ためになった。それぞれの特徴があり、どちらもすごく頑張っていらっしゃると思った。実際に働く職場選びも少し参考になった。最後のフィジカルアセスメントは大変勉強になった。

実習について

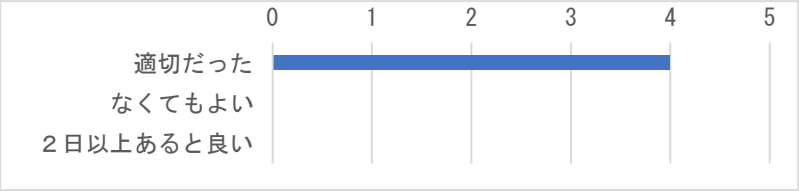



- 病棟での実習が学生時以来だったのでとても緊張したが、優しく丁寧に説明していただき、ありがたかった。吸引や血糖チェックの現在が知れてよかった。
- 患者様への対応、電子カルテの使用法を学んだ。
- 実際の現場で看護行為を見れて勉強になった。感染管理について学べたことは、勉強になった。電子カルテは初めてみたので圧倒された。とても三日間、勉強になった。
- 現場の状況が分かった。ケアの実際を知ることができたので、改めて認識することができた。

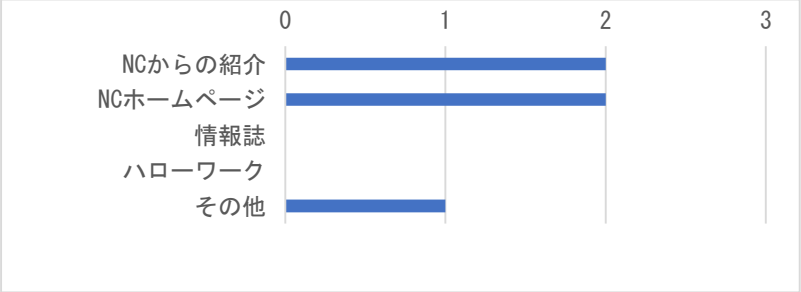
開催期間（３日間）について




病院実習について




研修の情報収集について（複数回答）




研修の希望

- 吸引、皮下注射、筋肉注射、手技
- 電子カルテの使用方法
- 今日のように看護全般を教えていただくとありがたい。特に電子カルテの使い方など。
- 今回の三日間の研修と、実技研修と、現在協会で実施されている分で良いと思う。

３日目の感想

- 実践に使える講義で勉強になった。
- 病院での実習は、実際に働いている感じがあり参加してよかった。電子カルテにはすぐにはなれそうにもなく、学びが必要であると思った。病棟の方々にわかりやすく教えてもらい勉強になった。
- 久しぶりに看護の実践を行い、思考が停止しそうなぐらいだったが、実習担当者の指導のお陰で、復職への思いが強くなった。
- 大変勉強になり、看護師をやっていた時の気持ちを思い出した。しかし体がなかなか動かなくなっていることにショックだった。
- 久しぶりに病棟に行って実際にケアできたので、忘れていたことに気づくことができた。

７．まとめ

今年度は、都城市郡医師会病院で講義２日と実習１日の３日間の研修を行った。

研修の広報は、看護協会ホームページ、宮日新聞情報誌「きゅんと」への掲載を行なった。また、ハローワーク都城、看護のシゴト出前就業相談、ナースセンター求職者への案内、LINE への掲載などを行い、受講者は５人となった。

今年度の研修は、復職支援講座、感染管理、訪問看護、フィジカルアセスメント、実習のプログラムで実施した。それぞれの講義についてはアンケートの結果から満足度が高かった。また、研修期間と実習に関するアンケートでは､3 日間の研修で実習を含むことは概ね適切という反応であった｡実習では、実際にユニフォームを着て病棟の業務に加わる事で、復職へのモチバーションが上がったようだった。3 日間を終え、受講者と都城市郡医師会病院の総看護師長、講義担当者、病院実習の担当者２名が参加し振り返りを行った。受講者は電子カルテについて苦手意識を持っていたが、実習担当者から「文字をスムーズに打てれば、電子カルテについては慣れていく」とアドバイスを受け、前向きにとらえる事が出来ていた。また感染管理の内容を、実習で実践できた事で、知識の確認が出来ていた。総看護師長の「スタッフが目標を持って力を合わせている」という言葉であらためて看護職の魅力を感じ、復職したいという気持ちが強くなったようだ。

当研修は潜在看護師を掘り起こし、地域の看護職確保につながっていると評価している。引き続き、関係機関と連携しながら潜在看護師が安心して復帰できるような場を提供し就業につなげていきたい。

【研修風景】

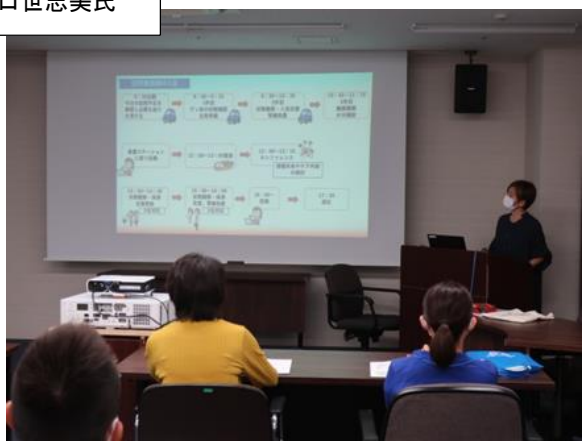
●感染管理

都城市郡医師会病院
感染管理認定看護師　横川三月氏

●復職支援講座

●訪問看護の概要

訪問看護ステーション優癒
大道事業所統括所長　谷口世志美氏



●実習オリエンテーション

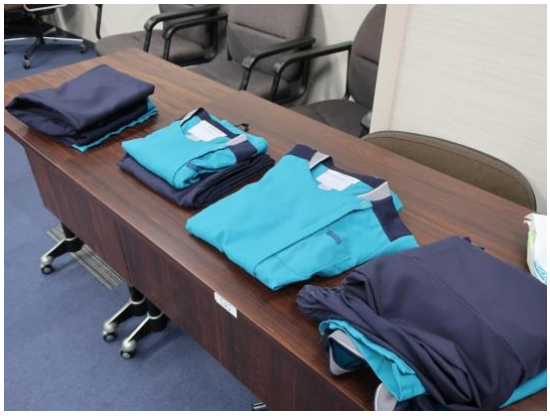
都城市郡医師会病院
総看護師長　上森妃美氏

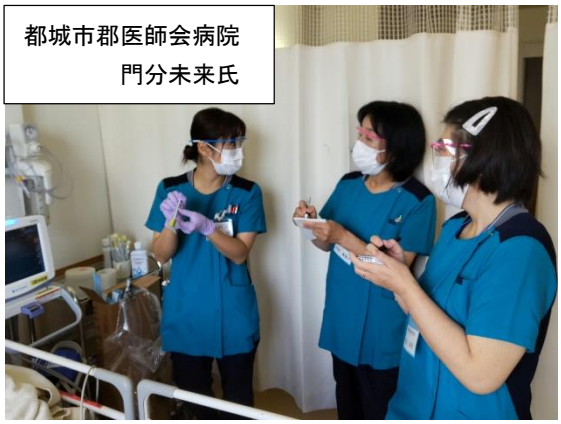
●フィジカルアセスメント

都城市郡医師会病院
救急看護認定看護師　竹下由美氏

●実習

都城市郡医師会病院
財部正恵氏





都城市郡医師会病院
門分未来氏